



公明党  
逗葉支部  
支部長  
たばた 智子

逗子市議会議員  
**たばた 智子**



公明党  
逗葉支部  
副支部長  
えぶち 真紀子

逗子市議会議員  
**えぶち 真紀子**



公明党  
逗葉支部  
副支部長  
星かよこ

葉山町議会議員  
**星かよこ**

## 「令和6年能登半島地震」 公明党県本部、 被災者救援の会に全面協力

令和6年1月1日、午後4時10分頃、石川県能登地方を震源とする震度7の地震が発生しました。

現地では余震が続く中、電気や水などの生活インフラにも大きな影響が出ました。合わせて大津波警報も発令されました。道路にも甚大な被害があり、救援隊の受け入れや支援物資の供給にも大きな影響が出ました。

公明党神奈川県本部は、1日も早い復旧が望まれるところから「神奈川県・令和6年能登半島地震被災者救援の会」(源波正保代表)が県内各地で行う被災者救援募金に協力しており、公明党逗葉支部も逗子駅頭での募金活動を支援します。お預かりした貴重な募金は、日本赤十字社神奈川県支部に寄託され、現地での必要な支援に活用されます。

## 公明党は 若者世代を応援します！

### ○大学無償化のさらなる拡充

2020年度から始まった大学や専門学校など高等教育の無償化を拡大へ。

現在は、世帯年収に応じて3段階の支援区分が設定されており、私立大学生では年間最大約160万円が支援されますが、公明党はさらなる拡充を政府に提案。その結果、24年度から多子世帯や理工農系の学生の中間層(世帯年収約600万円)への対象拡大が実現することとなりました。さらに政府は、3人以上の子どもがいる多子世帯について、2025年度から授業料・入学金を無償とする方針を示しています。

### ○奨学金の返還を支援

負担軽減に向け自治体や企業による支援を企業などが社員の奨学金を肩代わりする返還支援が各地で広がっています。

日本学生支援機構によると、奨学金返還支援制度を利用する企業は2023年10月末時点で1295社となり、利用人数は、2971人になりました。また、返還支援に取り組む自治体は22年6月時点で36都府県615市区町村まで広がり、利用者も15～21年度で累計3万人以上に達しました。



## 「物価高騰から市民を守るための 緊急要望」を提出

2023年(令和5年)12月、政府が決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」には、地方創生臨時交付金と共に各地域の実情に合わせて、きめ細かな支援策を進めることが出来る「重点支援地方交付金」の予算が追加されました。公明党逗葉支部は、11月27日に葉山町の山梨町長に、12月4日に逗子市の桐ヶ谷市長にそれぞれ要望書を提出し、同交付金などを効果的に活用し、低所得世帯への支援や物価高騰から市民生活を守る支援などを早急に決定し、経済の着実な回復を図るため迅速な対応を求める要望書を提出しました。

両市町ではそれぞれ補正予算に計上し定例会に提案、可決されました。



12月4日  
桐ヶ谷逗子市長に提出



11月27日  
山梨葉山町長に提出

公明党公式  
TikTokが  
評判です。  
ぜひ!

ご覧ください



公明党  
公式TikTok  
QRコード

## 令和5年度 第4回 定例会から

令和5年逗子市議会第4回定例会が11月30日から開催されました。  
田幡智子は12月12日に一般質問に立ち、東逗子駅前用地活用事業  
と学校教育について質問しました。

たばた智子 <https://lit.link/tabatomo>



## 東逗子駅前用地活用事業について



田幡智子=議場前

JR東逗子駅前の複合施設の計画について、田幡智子は、図書館と子育て支援の連携、期日前投票所の設置について提案しました。

### 1. 図書館と子育て支援の連携

【田幡】絵本の読み聞かせなど子どもたちが本を身近に感じる機会を増やすことでより良い子どもの成長や親子関係を築くことができると考えるが、図書館と子育て支援センターの連携できる配置などを要望する。

【教育長】子育て世帯の方に気軽に訪れていただけるように連携を進めていきたい。

絵本は子育てに重要な役割を果たす



### 2. 期日前投票所の設置で投票率を上げる

【田幡】若年層の投票率の低下が懸念されているが、複合施設には老若男女が訪れる機能があり、期日前投票所の設置の効果は充分にある。立会人の公募や期日前投票所の設置について見解を伺う。

【行政委員会事務局長】立会人の高齢化は将来的に問題となるので、公募は有用な施策であると考え。期日前投票所の設置については現段階では具体的な検討には入っていない。

期日前投票所となる  
市役所1階ロビー



## 学校教育について

### ICT教育について

#### 1. 学級閉鎖時などのオンライン授業を快適に

【田幡】学級閉鎖時にご家庭とのオンライン授業が実施されるようになったが、ツールの操作方法などはご家族に頼る場面が多い。オンライン授業を進めている学校があるが、子どもたちに理解ができるための学校内での取り組みを伺う。

【教育長】教育効果が望めそうな新しいアプリや機能については、子どもたちが操作に慣れるように積極的な利用、活用を進めていく。

#### 2. タブレットの破損に物理的な施策を

【田幡】児童生徒全員に配布されたタブレットの

破損が問題になっている。破損は授業中に起こることが多いと聞いている。机の端に転倒防止の工夫や机を広げる器具がある。机を広げることは姿勢がよくなり、目にもいい。器具の活用について見解を伺う。

【教育長】物理的な支援では教室が狭くなるのが懸念される。今は端末を使う場面や場所を工夫することを考えている。

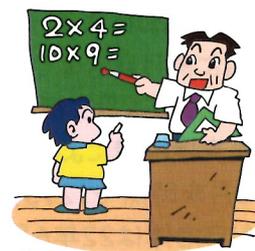


机が狭くて大変です

## 教員の働き方改革の推進について

【田幡】小学校での教科担任制は、教師の授業準備などに費やす時間を減らすことが期待され、児童生徒と充分に向き合える時間が確保されると考える。取り組みについて伺う。

【教育長】学校に求められることは多種多様であり、学校がやるべきもの、教師がやるべきものを精査し、教師が子どもたちにきちんと向き合えるような体制を作っていく。



OKOMETO